



勝浦市太極拳サークル

新規会員随時募集中

美心会だより



ロシアのウクライナ侵攻からガソリン・灯油の値上がりが引き金になり、電気代・ガス代と物価高が家計を圧迫している。年金生活者はこれに加え、年金支給率の削減が聞こえてきた。

現状打開の一助には、6月30日(木)から始まった「マイナンバーカード」に紐付けされた、マイナポイントの申請が有効だ。開始から5日間で338万件も申請された。マイナンバーカードの交付で5,000円。これに公金受取口座の登録で7,500円、さらに健康保険証としての利用申込で7,500円、最大1人20,000円分のマイナポイントが付与される。家族ならば、子供も同額付与、4人家族ならば最大80,000円分もゲットできる。ポイントの付与は国の予算がなくなり次第終了となるので早めに対処したい。

ポイントの付与を受ける決済サービスでも各企業独自の特典が用意されている。

キャンペーン実施中の決済サービスと上乗せポイントが用意されているのは次のとおり。



Suica

d払い



ゆうちょ Pay



LINE Pay

キャンペーン実施中の決済サービスと上乗せポイント

【電子マネー】

Suica・・・1,000ポイント

【QRコード】

ゆうちょ Pay・・・1,500ポイント

d払い・・・1,000ポイント

LINE Pay・・・1,000ポイント

どうせ選ぶなら上乗せがより多いところに、と考えてしまうが、注意しなければならない事がある。

一番上乗せが多い「ゆうちょ Pay」だが、マイナポイントにゆうちょ Pay を選択した時点で1,500ポイントはもらえるが、マイナポイントをもらうためには9月30日までにゆうちょ Pay で2万円以上利用しなければならない。

Suica はマイナポイントに Suica を選択した時点で1,000ポイントもらえる。ただちょっとややこしいがポイントをもらうためにはJREポイントとの紐付けが必要で、還元されるのはJREポイントだ。(JREポイントでSuicaにチャージする事も可能)

d払いは25%還元+5%上乗せのキャンペーンなので2万円チャージすれば1,000ポイントもらえる仕組み、なので1万円しかチャージしなかった場合は、上乗せは500ポイントになる。

LINE Pay は1,000ポイントもらえるが、有効